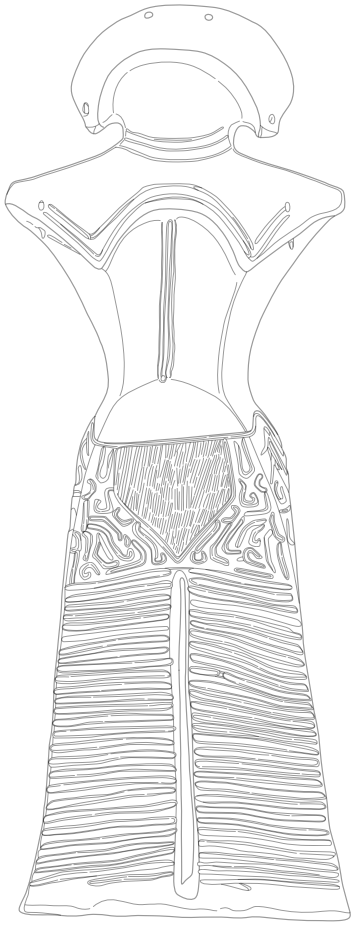
ISSN1341-397X

年　　報

令和６年度

令和７年５月

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター



序

山形県埋蔵文化財センターは、平成５年に財団法人として創設以来、また平成 24 年からは公益財団法人として、関係諸機関のご支援・ご協力をいただきながら取組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業につきましては、計画した事業の全てについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、調査事業においては、４遺跡３件の発掘調査と延べ８遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、３件の発掘調査報告書を刊行いたしました。本県における近年の発掘調査は、県内の高速交通網整備に伴う事業がピークを過ぎた一方、近年多発する自然災害の対策に伴う事業が増加傾向にあります。これからの県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

普及啓発事業につきましては、山形県の委託を受け、『出前授業』や『市町村巡回展示』『発掘作業体験』『遺跡体感ツーリズム』などの事業を実施し、多くの県民からご参加をいただきました。また、SNS やホームページによる情報発信、発掘調査遺跡の調査成果一般公開などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆様にお知らせしてまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていけるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

令和７年３月 31 日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
理事長　　大 泉 定 幸

目　次

Ⅰ．管理運営概要
１．沿　革…… 1
２．組　織
（１）役員及び評議員 …… 1
（２）職制及び人員 …… 2
（３）組　織 …… 2
（４）職　員 …… 3
３．施　設…… 4
Ⅱ．業務概要
１．調査業務…… 5
（１）調査遺跡一覧 …… 6
（２）調査遺跡の概要
西田１・２遺跡 …… 8
諏訪原２遺跡 …… 12
若木館跡 …… 14
中野目Ⅱ遺跡 …… 16
水林下遺跡　第１～３次 …… 17
原の内Ａ遺跡　第４次 …… 18
鶴子中原遺跡 …… 19
北向遺跡　第３・４次 …… 20
鶴ヶ岡城跡　第４次 …… 21
中洗２遺跡 …… 22
新庄城二の丸跡 …… 23
２．普及啓発・研究等業
（１）受託事業
①出前授業…… 24
②発掘調査速報会…… 25
③遺跡・史跡パンフレット…… 25
④市町村巡回展示会…… 25
⑤体験学習会…… 25
⑥遺跡体感ツーリズム…… 26
⑦ SNS 情報 …… 26
⑧出土品貸出等…… 26
（２）その他
①調査説明会・調査成果一般公開…… 28
②来所者…… 28
③職員派遣等…… 30
④啓蒙物品等貸出…… 32
⑤出版物…… 32
⑥ホームページ…… 33
（３）研修等 …… 33
（４）情報処理 …… 34

Ⅰ　管理運営概要

１．沿　革

山形県には、土地に埋蔵された埋蔵文化財や史跡、有形文化財、民俗文化財などが数多く残されています。これらの文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、そして今日まで守り伝えられてきた貴重な県民の文化遺産であり、これを保護・活用し、次世代に確実に継承していくことが大事です。

山形県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の保護と県土の開発を両立させて調和を図るため、平成５年４月に山形県の出資によって「財団法人」として設立され、平成 24 年度には「公益財団法人」に移行しました。当センターでは、埋蔵文化財の調査研究を通じて、県民の文化生活の向上と地域文化の振興に寄与することを目的として、

１．遺跡等埋蔵文化財の調査及び研究
２．埋蔵文化財の活用及び保護思想の普及
３．その他この法人の目的を達成するために必要な事業

の三つを基本とした各種事業を推進しております。

令和４年３月に『山形県文化財活用大綱』が策定され、その中で当センターは推進体制の関係団体となっています。センターは、埋蔵文化財保護と活用の役割を担い、山形県と連携し進める必要があります。

当センターでは山形県からの委託を受け、埋蔵文化財の価値を認識してもらう視点に立って、「出前授業」、「市町村巡回展示」、「発掘調査速報会」、「ホームページとＳＮＳによる情報発信」、「体験学習会」、「遺跡体感ツーリズム」の実施などの普及啓発活動にも力を注いでおります。

２．組　織

（１）役員及び評議員

役　員

理事長	大泉定幸	山形県観光文化スポーツ部長
専務理事	菅原靖男	財団常勤役員
理　事	石川由美	一般社団法人山形県医師会事務局長
理　事	渋谷孝雄	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長
理　事	杉澤栄一	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事
理　事	中村雪子	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長
監　事	佐藤真二	山形県観光文化スポーツ部観光交流拡大課長
監　事	梶野哲郎	元梶野哲郎税理士事務所

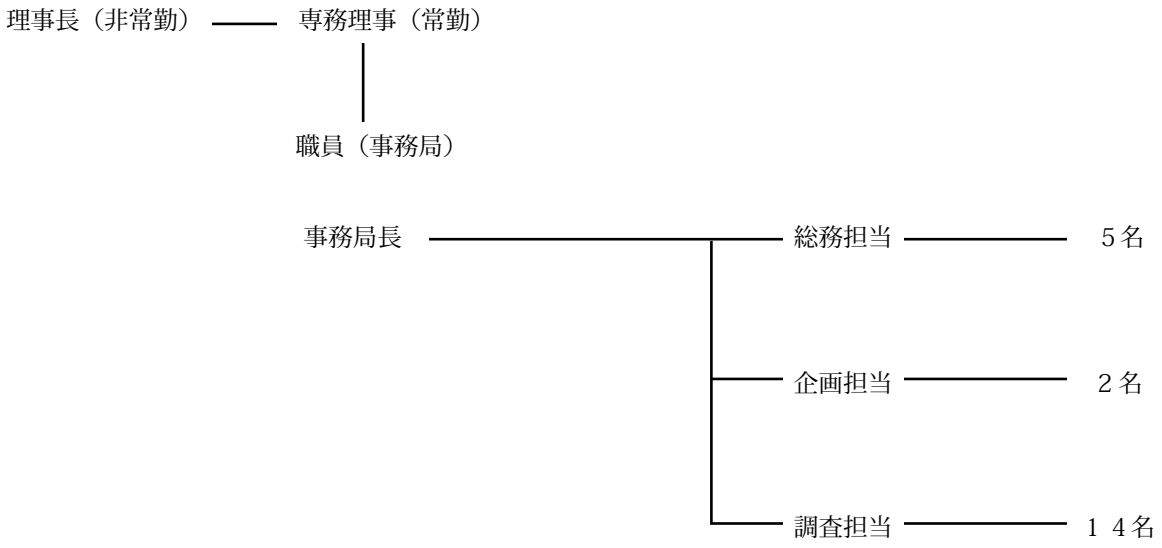
評議員	阿部明彦	山形考古学会会長
評議員	遠藤友紀	米沢上杉博物館主任学芸員
評議員	大類　誠	尾花沢市文化財保護審議員
評議員	河村一郎	山形県立博物館副館長（兼）学芸課長
評議員	佐藤仁喜弥	特別法人山形県住宅供給公社専務理事
評議員	佐藤浩幸	山形県農林水産部農村整備課長
評議員	平山直人	山形県県土整備部道路整備課長
評議員	本間　豊	公益財団法人致道博物館理事（兼）学芸部長
評議員	三澤裕之	秀明大学教育研究所教授

（２）職制及び人員

事務局長	１名
総務専門員	１名
調整専門員	１名
調査研究専門員	２名
専門調査研究員	１名
主任調査研究員	４名
主任主査	３名
事務主査	１名
企画主任	１名
事務員	４名
調査員	３名
計	２２名

（３）組織

役員（理事会）



（4）職　員

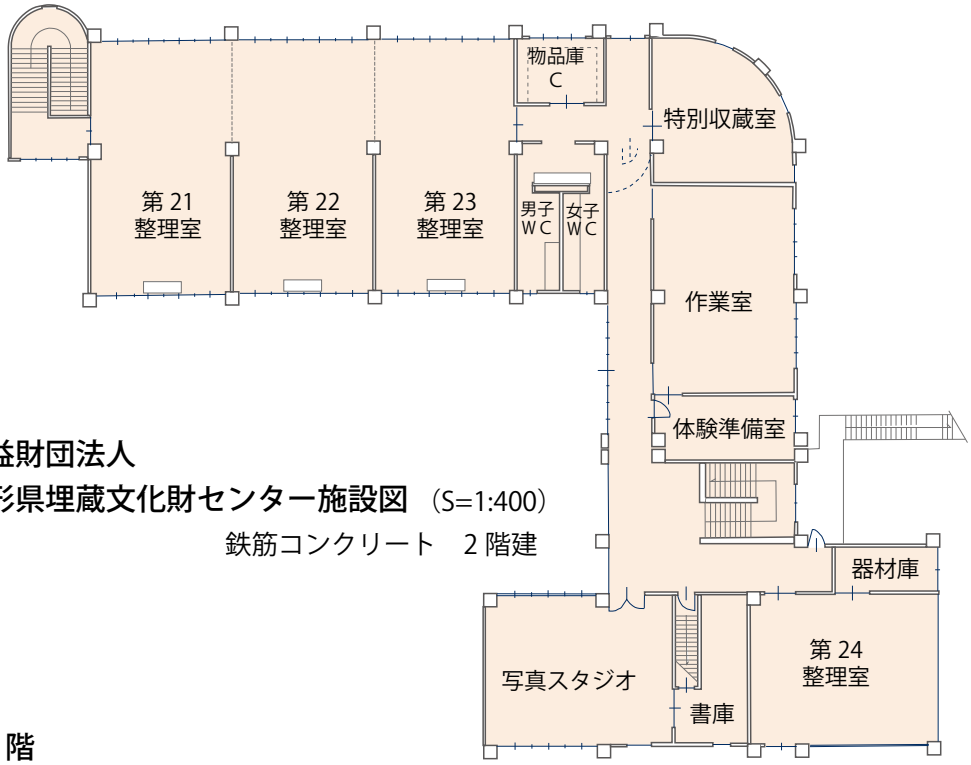
	職名	氏名		
	事務局長	高桑弘美	一般職員	
総務担当	総務専門員	植松暁彦	一般職員	（兼）調査研究専門員
	事務主任	石澤治雄	任期付職員	
	事務員	梅津里枝	任期付職員	
	事務員	柳原　恵	任期付職員	
	事務員	後藤枝里子	任期付職員	
企画担当	企画主任	須賀井新人	任期付職員	
	事務員	熊谷夏恋	任期付職員	
調査担当	調整専門員	高桑　登	一般職員	（兼）調査研究専門員
	調査研究専門員	齋藤　健	一般職員	
	調査研究専門員	菅原哲文	一般職員	
	専門調査研究員	水戸部秀樹	一般職員	
	主任調査研究員	大場正善	一般職員	
	主任調査研究員	草野潤平	一般職員	
	主任調査研究員	天本昌希	一般職員	
	主任調査研究員	渡辺和行	一般職員	
	主任主査	齊藤主税	一般職員	
	主任主査	氏家信行	一般職員	
	主任主査	小林圭一	一般職員	
	調査員	志鎌久悦	任期付職員	
	調査員	大村暖奈	任期付職員	
	調査員	小幡桃花	任期付職員	

3．施　設

公益財団法人山形県埋蔵文化財センターは、平成 24 年 11 月末まで、山形県上山市弁天二丁目 15 番 1 号にて業務を行ってきましたが、施設の老朽化と防災上の問題のため、同年 12 月 1 日より、山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地に移転しました。

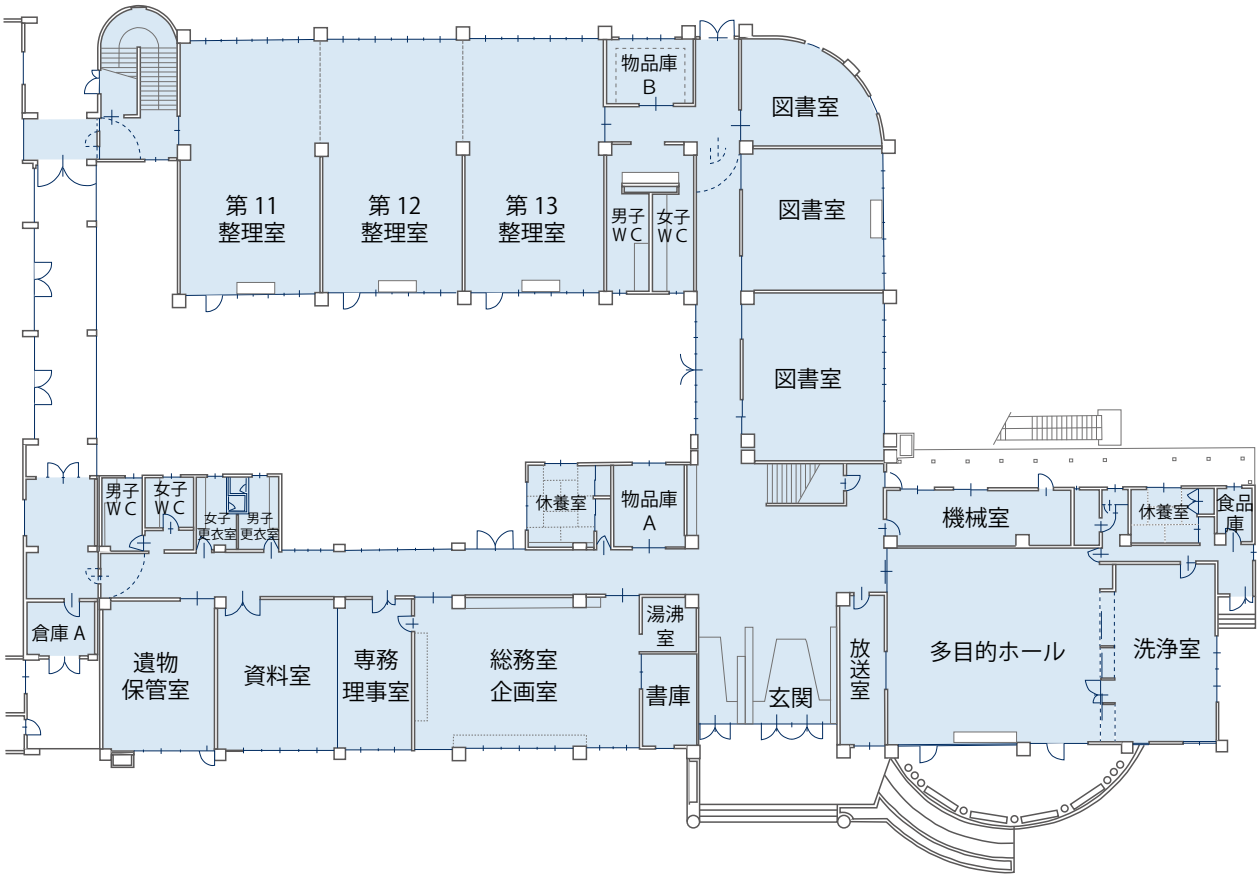
現在、当センターの施設は、以下のとおりになります。

2 階



公益財団法人
山形県埋蔵文化財センター施設図（S=1:400）
鉄筋コンクリート　2 階建

1 階



Ⅱ　事業概要

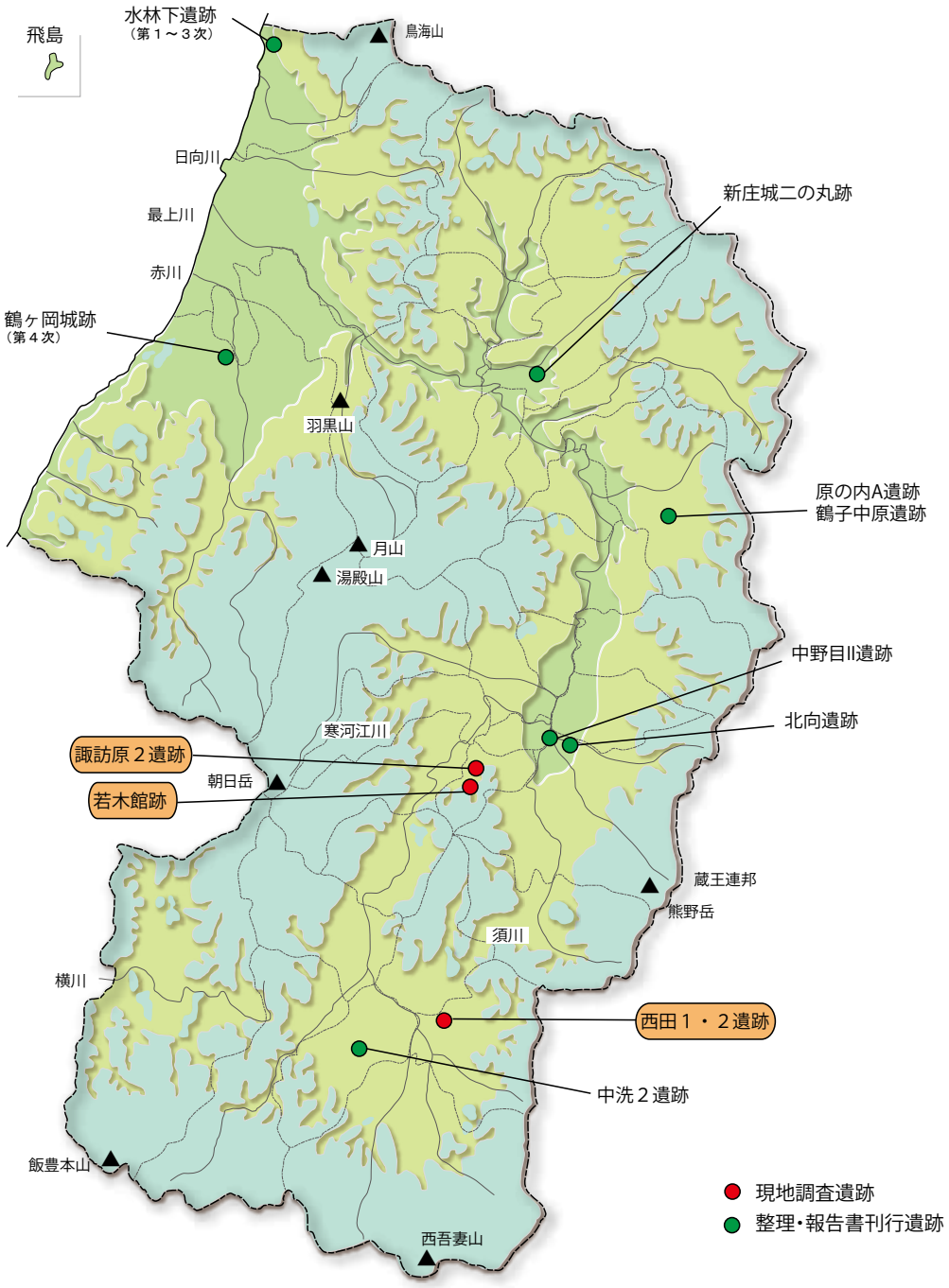
1．調査業務

令和６年度は、国土交通省および山形県、新庄市から委託を受け、道路建設、農地整備事業等に先だっての現地調査と整理作業、報告書刊行を実施しました。

現地調査は３遺跡について行い、総面積は 11,920㎡になります。出土品は、土器等 91 箱が出土文化財の認定を受けました。

報告書作成のための整理作業は延べ８遺跡について実施し、その内３遺跡３冊の発掘調査報告書を刊行しました

令和６年度　発掘調査遺跡



※本書中の「調査遺跡の概要」の記述内容は概要の報告であり、発掘調査報告書の刊行をもって本報告となります。

（1）調査遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	主な時代	遺跡の種類	調査期間
1	西田（にしだ）1遺跡 西田（にしだ）2遺跡	高畠町	古墳 奈良・平安・中世	墳墓跡 集落跡	6月4日～12月27日
2	諏訪原（すわばら）2遺跡	山辺町	中世	集落跡	5月20日～9月13日
3	若木館（わかきたて）跡	山形市	中世	城館跡	6月11日～10月11日
4	中野目（なかのめ）II遺跡	山形市	古墳・奈良・平安・ 中世	集落跡	
5	水林下（みずばやしした）遺跡 （第1～3次）	遊佐町	旧石器・縄文・ 平安・中世・近世	集落跡	
6	原の内（はらうち）A遺跡 （第4次）	尾花沢市	縄文	集落跡	
7	鶴子中原（つるこなかはら）遺跡	尾花沢市	縄文	集落跡	
8	北向（きたむかえ）遺跡 （第3・4次）	山形市	縄文・古墳・奈良・ 平安・中世・近世	集落跡	
9	鶴ヶ岡城（つるがおかじょう）跡 （第4次）	鶴岡市	中世・近世	城館跡	
10	中洗（なかあらい）2遺跡	川西町	古墳・平安	集落跡	
11	新庄城二の丸（しんじょうじょうにのまる）跡	新庄市	近世	城館跡	

調査面積：平方ｍ	文化財認定 箱数：箱	起因事業〈委託者〉	業務内容			調査経費：円
			現地調査	整理	報告書	
10,120	3 67	農地整備事業（経営体育成型） 亀岡西地区 〈山形県観光文化スポーツ部〉	○	○	—	139,000,000
1,100	10	交通安全道路事業 主要地方道山形朝日線（山辺工区） 〈村山総合支庁建設部〉	○	○	—	48,441,000
700	11	若木　土砂災害対策事業費 （砂防自然災害防止事業急傾斜） 〈村山総合支庁建設部〉	○	○	—	43,973,000
		最上川上流河川改修事業 （須川地区） 〈国土交通省〉	—	○	—	21,276,200
		一般国道７号遊佐象潟道路 〈国土交通省〉	—	○	○	23,542,200
		農地整備事業（経営体育成型） 鶴子六沢地区 〈山形県観光文化スポーツ部〉	—	○	—	16,000,000
		農地整備事業（経営体育成型） 鶴子六沢地区 〈山形県観光文化スポーツ部〉	—	○	—	12,300,000
		交通安全道路事業 一般県道東山七浦線 〈村山総合支庁建設部〉	—	○	○	5,952,100
		街路整備事業（防災・安全交付金） 〈庄内総合支庁建設部〉	—	○	○	29,115,900
		道路改築事業 国道 287 号米沢川西バイパス 〈置賜総合支庁建設部〉	—	○		19,052,000
		新庄市公立保育所整備 〈新庄市〉	—	○		26,523,200
11,920	91					385,175,600

西田 1・2 遺跡

遺 跡 番 号　西田 1 遺跡：381 - 315・西田 2 遺跡：381 - 316
調 査 次 数　第 1 次
所　在　地　山形県東置賜郡高畠町大字船橋字西田
北緯・東経　西田 1 遺跡：37 度 59 分 30 秒・140 度 9 分 39 秒
　　西田 2 遺跡：37 度 59 分 24 秒・140 度 9 分 36 秒
調査委託者　山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課
起 因 事 業　農地整備事業（経営体育成型）亀岡西地区
調 査 面 積　10,120㎡
受 託 期 間　令和 6 年 5 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
現 地 調 査　令和 6 年 6 月 4 日～ 12 月 27 日
調査担当者　水戸部秀樹（現場責任者）・氏家信行・小林圭一・志鎌久悦・大村暖奈・小幡桃花
調 査 協 力　山形県置賜総合支庁産業経済部農村整備課・高畠町教育委員会・ 米沢平野土地改良区
　　山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
遺 跡 種 別　墳墓・集落
時　　代　古墳時代・古代・中世
遺　　構　方形周溝墓・池・井戸・土坑・溝・柱穴・ピット
遺　　物　石器・砥石・土師器・須恵器・陶磁器・青磁・古銭・井戸枠・曲物・鋤・骨
　　（文化財認定箱数：西田 1 遺跡 3 箱、西田 2 遺跡 67 箱）

調査の概要

西田 1 遺跡と西田 2 遺跡の調査を同時に実施した。両遺跡は、奥羽山脈西麓から発する砂川とその支流である和田川に挟まれた低地に位置している（図 1）。しかし実際は周囲よりわずかに高い地形となっており、水田ではなく畑地として利用されていた。

古墳時代・平安時代・鎌倉時代に作られた数多くの遺構が見つかり、人々の暮らしぶりが少しずつ見えてきた。

西田 1 遺跡（図 2 ～ 6）

平安時代（9 世紀後半）に建てられた総柱の掘立柱建物（図 4）が 1 棟見つかった。倉庫として使われたと考えられる。他には、同じく平安時代の土坑（図 5）、古墳時代の溝（図 3）、中世の井戸（図 6）・柱穴などが見つかった。溝は集落を囲むように南北に、東西に設けられている。屈曲する部分は入口に当たるだろうか。

遺構の配置から、集落の南端部であることが予想されるので、集落の本体は調査区より北側の現在の集落と同じ場所ではないだろうか。調査区の西隣には船橋神社（春日神社）が鎮座しており、関係する遺構も含まれいてる

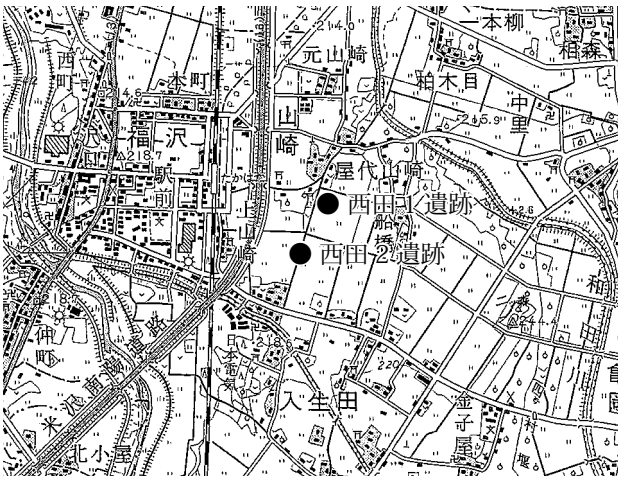


図 1　遺跡位置図（S = 1 : 50,000）

可能性がある。

西田 2 遺跡（図 7 ～ 15）

古墳時代では、2 基の方形周溝墓（図 8 ～ 11）が見つかった。方形周溝墓 1 は、出土遺物から古墳時代前期のものと考えられる。もう一方も、近い時期のものだろう。

鎌倉時代（13 世紀頃）には、数多くの柱穴、土坑、井戸（図 12・13）、溝、そして池（図 15）が作られた。

図２　西田１遺跡完掘状況のオルソ画像（S＝1：400）

図３　溝内の古墳時代の土師器出土状況（西から）

図４　西田１遺跡、掘立柱建物（北西から）

図５　古代の土器出土状況（南東から）

図６　中世の井戸（東から）

図 7　西田 2 遺跡完掘状況オルソ画像（縮尺 1/800）

無数の柱穴の存在は、かつて多数の掘立柱建物が建てられ、さらに近い場所に何度も建て替えられたことを示している。

池は庭園を構成するものであること、庭園は寺院に付属することが多いことから、この地に寺院が存在していた可能性が浮上した。このあたりを領有していた長井氏に近い人物が建立したのだろう。付近には同時代に存在した寺院として、亀岡文殊（当時は文珠寺）、資福寺、安久津八幡神社（もともとは阿弥陀堂）などが知られている。

数多くの井戸が旧河道上に作られていた。旧河道部分は砂地であり、地下水が豊富に含まれている。井戸には、縦板や曲物を設置したものや素掘りのものなどがある。大型の土坑（図 14）も数多く見つかった。地下水脈を探すための試し掘りの痕跡なのかも知れない。なぜこんなに多くの井戸が必要だったのだろうか。

中世の出土遺物は、瓷器系陶器や須恵器系陶器、青磁、白磁、さし銭、鋤などがあった。

図 8　方形周溝墓 1（南東から）

図 9　遺物出土状況（方形周溝墓 1 西側）

図 10　遺物出土状況（方形周溝墓 1 東側）

図 11　方形周溝墓 2（南東から）

図 12　井戸枠のある井戸（南東から）

図 13　曲物のある井戸（北西から）

図 14　大型土坑（北から）

図 15　池（南東から）

諏訪原（すわばら）２遺跡

遺跡番号　301-070
調査次数　第１次
所在地　山形県東村山郡山辺町大字山辺字諏訪原
北緯・東経　37 度 17 分 52 秒・140 度 15 分 33 秒
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部道路課
起因事業　交通安全道路事業主要地方道山形朝日線（山辺工区）
調査面積　1,100㎡
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月 31 日
現地調査　令和６年５月 20 日～９月 13 日
調査担当者　齋藤健（現場責任者）・齊藤主税
調査協力　山辺町教育委員会
遺跡種別　集落跡
時代　中世
遺構　溝・土坑・柱穴
遺物　縄文土器・須恵器・陶磁器　（文化財認定箱数：10 箱）

遺跡位置図（S ＝ 1:50,000）

調査の概要

諏訪原２遺跡は、JR 左沢線羽前山辺駅の西方約 1km に所在する遺跡で、主要地方道山形朝日線の歩道設置による拡幅工事に伴う分布調査で発見された新規の遺跡である。本遺跡は山辺町中心部の西側に広がる丘陵地から続く段丘上の、水はけがよい緩やかな傾斜地に位置している。近代以降は桑畑として利用されていたが、ここ数十年はリンゴを中心とする果樹園となっている。当遺跡の北西約 0.3km には平安時代を中心とした諏訪原遺跡、東側約 0.7km には中世城館である山辺城跡がある。また、南西約 1.3km には縄文時代中期・後期の根際的場遺跡が、南東約 1.5km には奈良・平安時代の条理遺跡である山辺条理遺跡がある。

今回の調査では、溝跡や柱穴や素掘りの井戸跡などの遺構が検出された。溝跡は、概ねほぼ南北方向を主軸とし、現在の地割ではなく昭和 40 年代に実施された区画整理以前の地割に沿ったものであると見られる。出土遺物は、近世の陶磁器片が多く、少量ではあるが、平安時代の須恵器の破片も出土してた。調査区最北端の８区では幅 4m、深さ 2m ほどのほぼ直角に屈曲した大型溝跡が検出されている。V 字状の断面やほぼ直角に屈曲している様子から、河川跡というより人工的に掘削された溝跡と考えられる。出土遺物は自然木と縄文土器のみである。

まとめ

今回の調査で検出された溝跡の多くは近世から近代にかけての土地の区割りや道路の側溝などの溝ではないかと推測される。また、同時期のものと見られる素掘りの井戸跡も検出された。

８区の大型溝跡については、出土遺物は縄文土器のみ

であるが、溝の断面や規模から中世以降のもので、縄文土器は後世の流入遺物と考えている。現在、出土した自然木の年代測定を実施しており、それらを基に大型溝跡の年代を確定したい。

調査区概要図

写真１　１区柱穴完掘状況 (北から)

写真２　３区溝跡検出状況 (南から)

写真３　５区井戸跡完掘状況 (西から)

写真４　８区大型溝跡検出状況 (南から)

写真５　８区大型溝跡完掘状況 (北から)

写真６　８区大型溝跡完掘状況 (西から)

若木館跡

遺跡番号　201-232
調査次数　第1次
所在地　山形県山形市大字若木
北緯・東経　38度15分39秒・140度15分5秒
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部河川砂防課
起因事業　若木　土砂災害対策事業費（砂防自然災害防止事業急傾斜）
調査面積　700㎡
受託期間　令和6年4月1日～令和7年3月31日
現地調査　令和6年6月11日～10月11日
調査担当者　渡辺和行（現場責任者）・小幡桃花
調査協力　山形市文化創造都市課文化財係
遺跡種別　城館跡
時代　中世
遺構　土坑・溝・柱穴・ピット・整地層
遺物　青磁・白磁・瓦質土器・古銭　（文化財認定箱数：11箱）

遺跡位置図（S＝1:50,000）

調査の概要

今回の調査は、若木地区の土砂災害防止事業に伴った発掘調査である。調査区は工事用道路建設区・西調査区・東調査区の3か所に分けて行った。

いずれの調査区も現状の地形を記録することから調査を行った。次に遺構が確認される地層まで表土を掘削し、地面を平らに削りながら遺構を検出した。工事用道路建設区と東調査区は人力で、西調査区は重機で表土の掘削を行った。見つかった遺構を丁寧に掘り下げ、必要に応じて写真撮影や測量などの記録作業を行った。

いずれの調査区も遺構が良好に残っていた。東調査区の下段と西調査区については平坦面を作り出すための整地した層（整地層）が確認できた。

遺構と遺物

調査区毎に見つかった遺構・遺物について紹介する。

工事用道路建設区

工事用道路の建設によって削られる場所を調査した。この調査区のうち、西調査区に向かう箇所で、江戸時代後半の土地造成と考えられる痕跡が確認された。

東調査区に向かう傾斜地では、テラス状の平坦面を作り出し、その後に埋め戻している状況が確認できた。埋め戻された堆積層から中国から輸入された15世紀頃の青磁や白磁、古銭（永楽通寶）と共に茶臼や火鉢といった石製品が出土している。

また、平坦面の直上では、木炭と焼土を多く含む遺構が検出された。その中から坩堝（るつぼ）が出土している。このことから、金属の加工を館跡で行っていたと考えられる。遺構では柱穴が検出されている。何らかの建物が存在していた可能性を指摘できる。

東調査区

東調査区は上・中・下段に分けて調査を行った。上段

では多くの柱穴と溝が検出された。遺物は数点しか出土しておらず、遺構の時期は明確ではない。柱穴の形状は直径が小さく、深く掘りこまれるものである。この特徴は中世の柱穴によくみられるため城館が機能した時期のものと考えている。柱穴出土の炭化物に対し年代測定を行った結果、3 点の内 1 点が 1500 年代、2 点が 1400 年代を示している。

中段は範囲も狭いため、地山の地形をトレンチにて確認するに留まった。下段では、平坦面を作り出すための整地の痕跡を確認できた。また、斜面際で溝跡が確認されている。遺物は白磁の皿や 15 世紀から 16 世紀初頭に属するとみられる天目茶碗の破片が出土している。

西調査区

西調査区では、調査区の北側で平坦面を作り出すための整地層が確認された。整地層は 2 時期に分けられるとみられる。整地層から出土した炭化物を年代測定した結果、15 世紀代を示した。いずれの整地層の上面からも少ないながら柱穴や溝が検出された。整地層の中からは 15 世紀ごろの青磁が出土している。他に茶臼や石鉢などが出土した。調査区の南側には整地層がなく、地盤が安定していた。そこには柱穴が集中しており、検出した柱の軸線がそろっているものがあることから建物の存在が考えられる。建物の配置については検討中である。

まとめ

若木館跡は 1438 年に、新関吉綱が築城したとされている。今回の調査で出土した遺物には 15 世紀のものが一定数あり、伝承を裏付ける結果が得られている。また、輸入磁器や茶臼など、中世の城館でよくみられる遺物も出土している。

整地層の存在から、この館跡がいずれかの時期に大規模な造成をされていることが判明した。年代測定の結果から 15 世紀代もしくは 16 世紀前半に行われた可能性が高いが、どのような要因で整地層の造成が行われたか判断が難しい。文献では、若木館跡は 17 世紀初頭に廃絶することが知られているが、遺物の出土量からみると、15 世紀に比べ 16 世紀および 17 世紀の遺物が少ない。この時期は戦国時代にあたり、15 世紀段階と 16・17 世紀では館跡の使用方法などが変化していた可能性がある。今後の検討課題である。

写真 1　若木館跡の空撮写真と調査区の配置

写真 2　東調査区上段完掘状況

写真 3　西調査区 : 南側遺構集中部

写真 4　工事用道路建設区から出土した遺物

中野目Ⅱ遺跡

遺跡番号　201-135
所在地　山形県山形市大字中野目
調査委託者　国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所工務第一課
起因事業　最上川上流河川改修事業（須川地区）
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月31日

現地調査　平成30年５月21日～11月５日
調査担当者　天本昌希・髙桑登・大村暖奈
遺跡種別　集落跡
時代　古墳時代、奈良・平安時代、中世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理	完了											
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元		完了										
	実測									完了			
	拓本												
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												

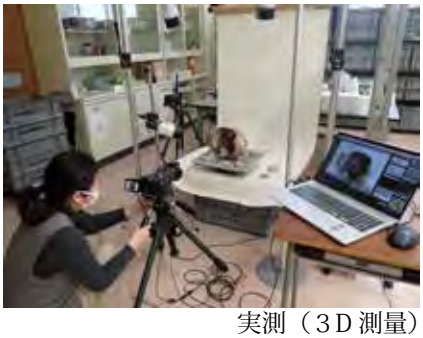
接合

実測

実測

実測

実測


実測（３D 測量）

実測（３D 測量）

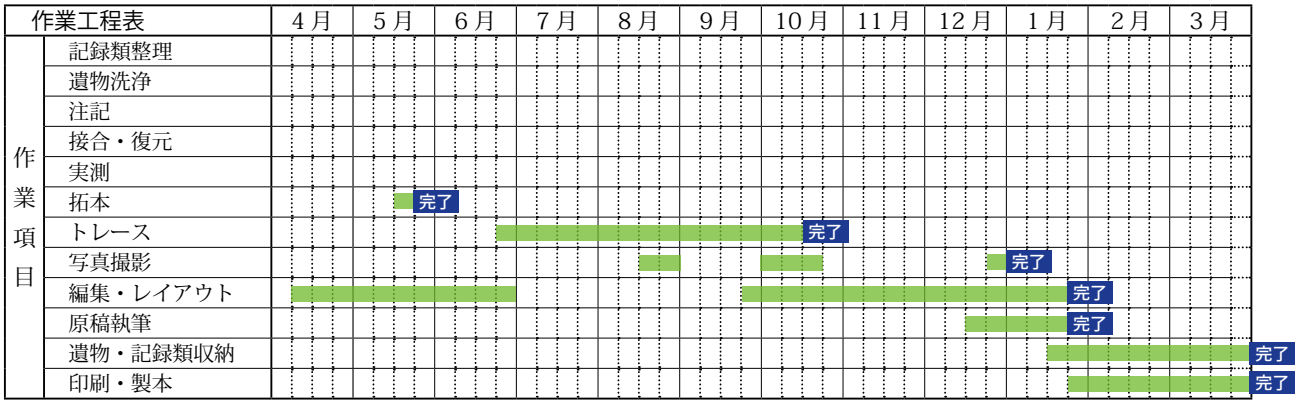
トレース

トレース

水林下遺跡（第１～３次）

遺跡番号　461-078
所在地　山形県飽海郡遊佐町吹浦字水林下
調査委託者　国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所調査第二課
起因事業　一般国道７号遊佐象潟道路
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月31日

現地調査　令和２年６月30日～11月27日（第１次）
令和３年６月15日～11月30日（第２次）
令和４年６月７日～９月９日（第３次）
調査担当者　大場正善・氏家信行
遺跡種別　集落跡
時代　旧石器・縄文・平安・中世・近世



拓本

トレース

トレース

写真撮影

編集（写真）

編集（レイアウト）

原稿執筆

遺物・記録類収納

印刷製本（検品作業）

原の内 A 遺跡（第 4 次）

遺 跡 番 号　212-029
所　在　地　山形県尾花沢市鶴子字原の内
調査委託者　山形県観光文化スポーツ部県民芸術文化振興課
起 因 事 業　農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区
受 託 期 間　令和 6 年 5 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
現 地 調 査　令和 4 年 10 月 3 日～ 11 月 30 日

調査担当者　植松暁彦
遺 跡 種 別　集落跡
時　　代　縄文時代・近世

作業工程表		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
作業項目	記録類整理												
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元								完了				
	実測												
	拓本												
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												

復元

接合

復元

復元

復元

実測

実測

写真撮影

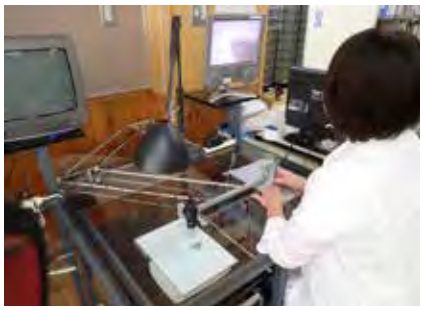
調査指導（胎土の種子分析）

鶴子中原遺跡

遺跡番号　212-024
所在地　山形県尾花沢市鶴子字原の内
調査委託者　山形県観光文化スポーツ部県民芸術文化振興課
起因事業　農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月31日
現地調査　令和５年10月３日～11月21日

調査担当者　植松暁彦・小林圭一
遺跡種別　集落跡
時代　縄文時代

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理												
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元	完了											
	実測												
	拓本												
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												


実測

実測

実測

実測

拓本

拓本

編集

記録類整理

理化学分析（C14 年代測定）

北向遺跡（第 3･4 次）

遺跡番号　201-323
所在地　山形県山形市大字青柳字壱本木ほか
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部道路課
起因事業　交通安全道路事業　一般県道東山七浦線
受託期間　令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

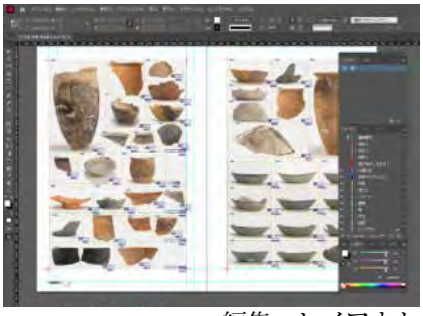
現地調査　令和 4 年 5 月 18 日～ 10 月 28 日
　　令和 5 年 4 月 12 日～8 月 8 日
調査担当者　天本昌希
遺跡種別　集落跡
時代　縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世・近世

作業工程表		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
作業項目	記録類整理	完了											
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元	完了											
	実測	完了											
	拓本	完了											
	トレース		完了										
	写真撮影										完了		
	編集・レイアウト											完了	
	原稿執筆											完了	
	遺物・記録類収納												完了
	印刷・製本												完了

トレース

トレース

編集・レイアウト


編集・レイアウト

原稿執筆

原稿執筆

収納

収納

印刷・製本

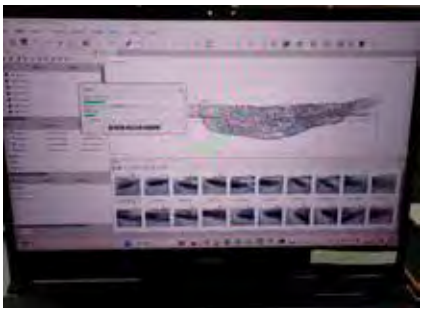
鶴ヶ岡城跡（第４次）

遺跡番号　203-044
所在地　山形県鶴岡市馬場町地内
調査委託者　庄内総合支庁建設部道路計画課
起因事業　街路整備事業（防災・安全交付金）
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月31日
現地調査　令和４年５月26日～10月31日

調査担当者　草野潤平・志鎌久悦
遺跡種別　城館跡
時代　中世・近世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
作業項目	記録類整理													完了
	遺物洗浄	完了												
	注記	完了												
	接合・復元	完了												
	実測										完了			
	拓本	完了												
	トレース										完了			
	写真撮影									完了				
	編集・レイアウト										完了			
	原稿執筆											完了		
	遺物・記録類収納													完了
	印刷・製本													完了

記録類整理


実測

トレース

写真撮影

図版編集

原稿執筆

保存処理委託

遺物収納

印刷・製本

中洗２遺跡

遺跡番号　382-198
所在地　山形県東置賜郡川西町大字時田字中洗地内
調査委託者　置賜総合支庁建設部道路計画課
起因事業　道路改築事業　国道 287 号米沢川西バイパス
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月 31 日

現地調査　令和５年６月１日～令和５年９月 22 日
調査担当者　齋藤健・齊藤主税
遺跡種別　集落跡
時代　古墳時代・平安時代

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理												
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元												
	実測												
	拓本												
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												

接合

復元

復元

復元

復元

実測

実測

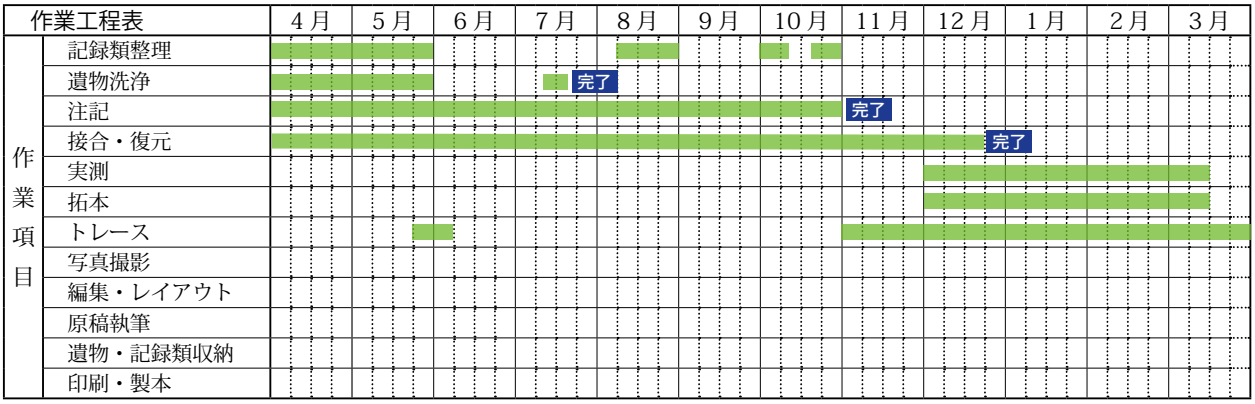
実測

業務委託（理化学分析）

新庄城二の丸跡

遺跡番号　205-129
所在地　山形県新庄市堀端町４番地
調査委託者　新庄市
起因事業　新庄市公立保育所整備
受託期間　令和６年４月１日～令和７年３月31日
現地調査　令和５年５月15日～11月14日

調査担当者　菅原哲文
遺跡種別　城館跡
時代　近世



洗浄

注記

接合・復元

接合・復元

実測

実測

拓本

トレース

記録類整理

2．普及啓発業務

（1）受託事業

①出前授業

	実施日	学校（団体）名	人数
1	5 月 17 日	庄内町立余目第三小学校	26
2	5 月 20 日	尾花沢市立玉野小学校	12
3	5 月 22 日	米沢市立松川小学校	51
4	5 月 23 日	米沢市立塩井小学校	22
5	5 月 28 日	山形市立出羽小学校	54
6	5 月 30 日	鶴岡市立渡前小学校	12
7	6 月 4 日	村山市立戸沢小学校	16
8	6 月 6 日	米沢市立南原小学校	24
9	6 月 10 日	最上町立最上中学校	66
10	6 月 11 日	山形市立第一小学校	43
11	6 月 17 日	酒田市立浜田小学校	29
12	6 月 25 日	鮭川村鮭川小学校	27
13	6 月 27 日	山形市立楯山小学校	27
14	6 月 28 日	村山市立大久保小学校	13
15	7 月 3 日	大蔵村立大蔵小学校	29
16	7 月 11 日	大石田町立大石田小学校	19
17	7 月 16 日	三川町立東郷小学校	27
18	7 月 17 日	鶴岡市立斎小学校	15
19	7 月 18 日	酒田市立浜中小学校	13
20	8 月 29 日	鶴岡市立黄金小学校	5
21	9 月 20 日	大江町立大江中学校藤田の丘分校	3
22	11 月 22 日	大石田町立大石田南小学校	8

（6 年度実績　22 ヶ所開催 541 名）

② 発掘調査速報会

	実施日	会場	人数
1	3月2日	山形県生涯学習センター　遊学館	77

③ 遺跡・史跡パンフレット作成

やまがたの遺跡・史跡めぐり　Vol.4（A3版2つ折り　両面印刷）　5,000部

④ 市町村巡回展示会

	実施日	会場	人数
1	7月27日～10月20日	酒田市文化資料館光丘文庫（酒田市）	1,053
2	9月25日～10月24日	大蔵村中央公民館（大蔵村）	48
3	12月11日～1月23日	川西町交流館あいぱる（川西町）	37

（6年度実績　1,138名）

酒田市文化資料館光丘文庫
8月25日ギャラリートーク

大蔵村中央公民館
10月5日ギャラリートーク

川西町交流館あいぱる
1月15日ギャラリートーク

⑤ 体験学習会

	実施日	事業名	開催場所	人数
1	6月18日	西山形の文化財	山形市立西山形小学校	16
2	7月9日	真室川町地域きずな授業	新庄神室産業高等学校真室川校	23
3	8月1日・2日	高校生のための考古学・歴史学ゼミナール	埋文センター、西田1・2遺跡	12
4	9月28日	遺跡発掘調査体験	高畠町西田1・2遺跡	24
5	11月16日	考古学お仕事体験	山形県埋蔵文化財センター	32

（6年度実績　107名）

歴史学・考古学ゼミナール

遺跡発掘調査体験

考古学お仕事体験

⑥　遺跡体感ツーリズム

	実施日	事業名	開催地	人数
1	10 月 12 日	遺跡体感ツーリズム in 楯山公園＆北楯大堰	庄内町狩川城跡ほか	17

（6 年度実績　17 名）

⑦　SNS 情報発信

X（旧 Twitter）により山形県埋蔵文化財センターの普及啓発活動やイベント等の案内を発信

フォロワー数　1,400 件

⑧　出土品貸出等

ア．出土品貸出

No.	貸出先	借用目的	貸出期間	資料名	数量
1	東根市教育委員会	東の杜（歴史資料館）展示のため	4 月 1 日～ 6 年 3 月 31 日	小田島城跡	7
2	寒河江市教育委員会	史跡慈恩寺旧境内ガイダンス交流拠点施設「慈恩寺テラス」展示のため	4 月 1 日～ 6 年 3 月 31 日	上の寺遺跡	11
3	舟形町教育委員会	舟形町歴史民俗資料館及び縄文の女神まつり展示のため	4 月 1 日～ 6 年 3 月 31 日	西ノ前遺跡	64
4	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	常設展示のため	4 月 1 日～ 6 年 3 月 31 日	荒川 2 遺跡ほか 5 遺跡	54
5	西川町歴史文化資料館	特別展「月山湖の過去－移転集落の記憶－」展示のため	4 月 9 日～ 8 月 31 日	月山沢遺跡	27
6	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	「赤ちゃん手形をつくろう」イベント提示のため	4 月 27 日～ 5 月 7 日	西海渕遺跡	1
7	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	令和 6 年度特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅰ」展示のため	5 月 15 日～ 9 月 20 日	吹浦遺跡ほか 3 遺跡	172
8	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	令和 6 年度特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅰ」展示のため	6 月 5 日～ 7 月 16 日	水林下遺跡	5
9	上山市立南小学校	6 学年社会科学習の資料として使用のため	6 月 10 日～ 6 月 27 日	熊ノ前遺跡ほか 3 遺跡	5
10	東北芸術工科大学	考古学応用実習での考古資料の使用痕跡観察のため	6 月 19 日～ 6 月 24 日	砂子田遺跡ほか 2 遺跡	6
11	縄文の里・朝日	企画展「奥三面の瘤付土器」展示のため	6 月 20 日～ 11 月 29 日	下叶水遺跡	18
12	山形県立博物館	小国小学校での出前授業のため	6 月 21 日～ 6 月 26 日	下叶水遺跡	5
13	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	企画展「遺跡の中のカミ・ホトケ」展示のため	7 月 23 日～ 12 月 15 日	宮ノ下遺跡ほか 50 遺跡	524

No.	貸出先	借用目的	貸出期間	資料名	数量
14	寒河江市教育委員会	寒河江市埋蔵文化財フェア「高瀬山の考古学Ⅱ」展示のため	8月26日～9月11日	高瀬山遺跡	86
15	山形県立山形養護学校	高等部校外学習の事前学習のため	9月27日～10月11日	西ノ前遺跡 石畑遺跡	7
16	東北大学	石器の蛍光X線分析のため	2月2日～3月3日	清水西遺跡	4

（計　996）

イ．資料掲載許可

No.	許可先	借用目的	資料名	数量
1	株式会社大風印刷	フリーマガジンの特集記事内に掲載のため	新庄城二の丸跡ほか2遺跡	3
2	縄文の里・朝日	企画展「奥三面の瘤付土器」の図録に掲載のため	下叶水遺跡	18
3	株式会社大風印刷	フリーマガジンでセンターの「30周年企画展」を紹介する広告に掲載のため	宮の前遺跡・西ノ前遺跡	3
4	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅰ」の展示パネルに掲載のため	吹浦遺跡ほか5遺跡	28
5	寒河江市教育委員会	寒河江市埋蔵文化財フェア「高瀬山の考古学Ⅱ」の展示パネル等に掲載のため	高瀬山遺跡	23
6	酒田市企画部文化政策課	広報誌「私の街さかた」へ市町村巡回展示会を広報する写真掲載のため	梵天塚遺跡・泉森窯跡	2
7	東北歴史博物館	特別展「多賀城1300年」広報物に掲載のため	俵田遺跡	12
8	東北歴史博物館	特別展「多賀城1300年」図録に掲載のため	俵田遺跡	18
9	川西町教育委員会	広報誌「町報かわにし」の特集記事「わが町のたからもの」に掲載のため	壇山古窯跡群	1
10	株式会社雄山閣	刊行本「ムシの考古学」（仮称）に掲載のため	馳上遺跡	2
11	サイネット株式会社	高等学校歴史教科書に掲載のため	上高田遺跡	1
12	公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団	「駒澤考古」への論文に掲載のため	泉森窯跡	8

（計　119）

ウ．資料調査

No.	来所者	期日	対象遺跡
1	奈良文化財研究所　職員	4月18日 ～19日	太郎水野2遺跡・清水西窯跡
2	愛媛県西条市　職員	4月30日	西海渕遺跡
3	弘前大学　教授	6月7日	向河原遺跡
4	東北歴史博物館　職員	6月24日	西ノ前遺跡・西海渕遺跡・作野遺跡
5	酒田市郷土史家	7月10日	安田遺跡・上曽根遺跡
6	仙台市教育委員会　元職員	7月29日	生石2遺跡ほか12遺跡
7	南山大学　教授	8月9日	野新田遺跡ほか16遺跡

No.	来所者	期日	対象遺跡
8	東北学院大学　学生	8月19日 ～21日	清水西遺跡
9	公益財団法人千葉県教育振興財団　職員	10月2日	弓張平H遺跡・月ノ木遺跡・高松Ⅱ・Ⅲ遺跡
10	日本旧石器学会　会員	10月17日 ～18日	太郎水野2遺跡・高瀬山遺跡・お仲間林遺跡
11	東京大学大学院　院生	10月30日 ～11月1日	宮の前遺跡・砂子田遺跡・釜淵C遺跡・高瀬山遺跡・下叶水遺跡
12	東北芸術工科大学　学生	11月27日	宮の前遺跡・原の内A遺跡
13	岩手大学　准教授	3月6日 ～7日	小田島城跡

（2）その他

①　調査説明会・調査成果一般公開

No.	市町村	遺跡名	公開期間	遺跡種別	見学者数
1	山形市	若木館跡	10月7日	城館跡	32
2	高畠町	西田1・2遺跡	11月17日	集落跡	50

（計　82）

②　来所者

No.	来所者	期日	人数	内容
1	西川町歴史文化資料館　職員	4月9日	1	遺物鑑定
2	個人（酒田市）	4月22日	1	施設見学
3	東北芸術工科大学　教授・学生	4月24日	5	施設見学
4	個人（横浜市）	5月16日	1	施設見学
5	個人（札幌市）	5月17日	1	施設見学
6	個人（さいたま市）	5月20日	2	施設見学
7	個人（宮城県白石市）	6月1日	2	施設見学
8	個人（三重県鈴鹿市）	6月3日	1	施設見学
9	山形大学　学生	6月6日	3	施設見学
10	個人（山形市）	6月7日	1	施設見学
11	個人（さいたま市）	6月19日	2	施設見学
12	個人（天童市）	6月19日	2	施設見学
13	株式会社イビソク　職員	6月19日	1	遺物鑑定
14	山形県立山形聾学校　教員・児童	6月20日	2	施設利用（校外学習）
15	個人（福島市）	7月2日	3	施設見学
16	個人（東根市）	7月2日	1	施設見学

No.	来所者	期日	人数	内容
17	個人（山形市）	7月3日	1	施設見学
18	個人（山形市）	7月3日	2	施設見学
19	個人（福島市）	7月3日	1	施設見学
20	九州歴史資料館　職員	7月3日	1	施設見学
21	個人（宮城県名取市）	7月4日	2	施設見学
22	山形考古学会　会員	7月5日	1	図書利用
23	山形県立山形盲学校　職員・児童	7月10日	4	施設利用（校外学習）
24	個人（新庄市）	7月10日	1	施設見学
25	舟形町教育委員会　職員	7月11日	3	施設見学
26	個人（東根市）	7月22日	1	施設見学
27	個人（庄内町）	7月22日	1	施設見学
28	朝日町教育委員会　職員	7月23日	4	施設見学
29	山形考古学会　会員	7月23日	1	施設見学
30	山形考古学会　会員	7月24日	1	施設見学
31	個人（尾花沢市）	7月29日	6	施設見学
32	個人（長井市）	8月7日	2	施設見学
33	個人（山形市）	8月9日	1	施設見学
34	個人（宮城県大崎市）	8月14日	1	施設見学
35	個人（山辺町）	8月19日	1	施設見学
36	個人（上山市）	8月26日	1	施設見学
37	個人（河北町）	8月27日	1	施設見学
38	山形市　職員	8月28日	4	施設見学
39	東北芸術工科大学　准教授	9月10日～13日	1	図書利用
40	個人（横浜市）	9月13日	1	施設見学
41	個人（三重県鈴鹿市）	9月17日	1	施設見学
42	令和6年度埋蔵文化財担当職員等講習会（主催文化庁）	9月20日	53	埋蔵文化財調査へのデジタル技術の応用に関する現地見学
43	新潟県埋蔵文化財調査事業団　職員	9月20日	1	施設利用（デジタル研修）
44	山形市内の町内会	9月26日	15	施設見学
45	東北芸術工科大学　准教授	9月27日	1	図書利用
46	個人（群馬県高崎市）	9月30日	1	施設見学

No.	来所者	期日	人数	内容
47	個人（東京都）	10月1日	1	施設見学
48	個人（山形市）	10月1日	1	施設見学
49	個人（東京都）	10月11日	2	施設見学
50	寒河江市教育委員会　職員	10月28日	1	遺物鑑定
51	個人（山辺町）	10月30日	1	図書利用
52	株式会社三協技術　職員	11月5日	1	施設見学
53	個人（東京都）	11月7日	1	施設見学
54	個人（新潟県阿賀町）	11月20日	1	施設見学
55	小国町文化財調査委員	12月12日	1	遺物鑑定
56	個人（三重県鈴鹿市）	12月16日	1	施設見学
57	米沢市教育委員会　職員	1月7日	3	遺物鑑定
58	個人（群馬県伊勢崎市）	1月10日	1	施設見学
59	個人（山辺町）	1月16日	1	図書利用
60	東北芸術工科大学　准教授	1月23日	1	図書利用
61	個人（山辺町）	1月23日	1	図書利用
62	聴講者	1月24日	2	第1回ふるさと考古学講座一般聴講
63	個人（福島県白河市）	1月28日	1	施設見学
64	聴講者	2月21日	6	第2回ふるさと考古学講座一般聴講
65	東北芸術工科大学　学生	3月4日～6日	6	インターンシップ
66	聴講者	3月7日	7	第3回ふるさと考古学講座一般聴講

（計　184）

③　職員派遣等

No.	依頼者名	派遣場所	派遣職員	期日	内容
1	舟形町教育委員会教育長	舟形町中央公民館	齊藤主税	4月25日 3月19日	舟形町文化財保護委員会への出席
2	文化庁文化財第二課長	文化庁京都庁舎	髙桑　登	5月10日	埋蔵文化財発掘調査等技術検討委員会への出席
3	宮城考古学会長	東北大学川内キャンパス	水戸部秀樹	5月25日	研究発表会での発表
4	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	大場正善	5月25日 7月6日 11月3日	石器作りの技術指導
5	明治大学黒曜石研究センター長	明治大学	大場正善	6月15日 ・16日	シンポジウムでの研究発表

No.	依頼者名	派遣場所	派遣職員	期日	内容
6	山形市立西山形小学校長	山形市立西山形小学校	草野潤平	6月18日	総合的な学習での講話
7	山形県地域史研究協議会	新庄市民プラザ	菅原哲文	6月21日 6月30日	新庄藩校明倫堂講座での講演 総会・研究大会での発表
8	古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人	東北歴史博物館	水戸部秀樹	6月28日	世話人会への出席
9	大江町教育委員会教育長	大江町中央公民館	髙桑　登	7月4日 10月30日 12月16日 2月25日	史跡左沢楯山城跡保存整備検討委員会への出席
10	鹿児島大学埋蔵文化財センター長	里田原歴史民俗資料館（長崎県平戸市） 末盧館（佐賀県唐津市）	大場正善	7月21日～27日	後期旧石器出土品の資料調査（製作技術観察と考察）
11	山形県立博物館長	山形県立博物館	須賀井新人 後藤枝里子 熊谷夏恋	8月3日	体験イベント「やまはく de 夏まつり」の講師
12	山形県知事	山形県庁	高桑弘美	8月6日	山形県文化財保護審議会への出席
13	山辺町相模公民館長	山辺町相模公民館	草野潤平	8月20日	五つ森古墳石棺の調査
14	西村山地域史研究会長	寒河江市文化センター	植松暁彦	8月24日	講座「山形の歴史を学ぶ」での講演
15	文化庁文化財第二課長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	大場正善	9月20日	先史時代遺跡に係る講師（石器製作実演）
16	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	渡辺和行	9月22日	第26期考古学セミナーでの講演
17	舟形町教育委員会教育長	舟形町歴史民俗資料館	齊藤主税	9月25日	企画展資料準備及び展示協力
18	山形県立うきたむ風土紀の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	水戸部秀樹 髙桑　登	9月29日	第26期考古学セミナーでの講演
19	文化庁文化財第二課長	文化庁京都庁舎	水戸部秀樹	10月16日	埋蔵文化財発掘調査等技術検討委員会への出席
20	天童市高擶公民館長	天童市高擶公民館	高桑弘美	10月27日	高擶公民館大会での講演
21	上山市教育委員会教育長	旧西郷第一小学校	須賀井新人	11月1日	「学びの多様化プレオープンスクール」の講師
22	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	高桑弘美	11月7日 2月5日	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館運営協議会への出席
23	国立歴史民俗博物館長	国立歴史民俗博物館	植松暁彦	11月9日 ・10日	歴博拠点研究会への出席
24	舟形町教育委員会教育長	舟形町堀内地内	齊藤主税	11月13日	舟形町文化財保護委員に係る研修会への出席
25	山形県知事	天童中部公民館	高桑弘美	11月18日	山形県文化財保護審議会への出席
26	おぐに歴史文化研究会長	おぐに開発総合センター	植松暁彦	11月30日	講演会での講話
27	（一社）学びと終活のサポートセンター代表理事	山形県生涯学習センター遊学館	須賀井新人	12月1日	講演会での講話

No.	依頼者名	派遣場所	派遣職員	期日	内容
28	（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター長	岩手県立工業技術センター	水戸部秀樹	12月13日	埋蔵文化財技術講習会での講演
29	東北芸術工科大学歴史遺産学科准教授	東北芸術工科大学	髙桑弘美	1月8日	ゼミ合同授業の講師
30	国立歴史民俗博物館長	神戸大学	植松暁彦	1月12日・13日	全国史料ネットワーク研究交流会への出席
31	全国埋蔵文化財法人連絡協議会デジタル技術等活用推進委員会委員長	センター内（オンライン開催）	天本昌希	2月3日	「山形県埋蔵文化財センターでの三次元計測の実践例」報告
32	東根市教育委員会生涯学習課長	東の杜	髙桑　登	1月17日	東根市ガイドブックに係る文化財の調査
33	（公財）福島市振興公社理事長	宮畑遺跡史跡公園じょうもぴあ宮畑	髙桑　登	2月8日	講演会での講話
34	酒田市文化財保護審議会長	酒田市総合文化センター	植松暁彦	2月14日	酒田市文化保護審議会への出席
35	山形県立うきたむ風土紀の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	水戸部秀樹	2月16日	考古資料検討会での講演
36	飽海地域史研究会長	青原寺（酒田市）	植松暁彦	2月23日	講演会での講話
37	鹿児島大学埋蔵文化財センター長	雲仙市歴史資料館国見展示館	大場正善	3月2日～6日	後期旧石器出土品の資料調査
38	山形県立博物館長	山形県立博物館	大場正善	3月18日	考古部門への業務指導

④　啓発物品等貸出

No.	貸出先	借用目的	貸出期間	物品名
1	上山城郷土資料館	上山城体験教室「勾玉づくり＆弓矢体験」への貸出	8月9日～13日	弓矢飛ばしセット
2	山形県立山形養護学校	高等部校外学習への貸出	9月27日～10月8日	縄文服、弓矢飛ばしセット、模擬石器

⑤　出版物

ア．一般公開資料

書　名	発行年月日
若木館跡発掘調査説明資料	2024年10月7日
西田1・2遺跡発掘調査説明資料	2024年11月17日

イ．調査報告書

シリーズNo.	書　名	発行年月日
248	鶴ヶ岡城跡第4次発掘調査報告書	2025年3月31日
249	北向遺跡第3・4次発掘調査報告書	2025年3月31日
250	水林下遺跡第1～3次発掘調査報告書	2025年3月31日

ウ．その他

資料名	発行年月日
令和６年度年報	2024 年５月７日
研究紀要　第 17 号	2025 年３月 31 日

⑥　ホームページ

主な項目と内容は以下の通りです。

・センター概要　センターの紹介や、情報公開制度に基づいた、センター情報の提供
・発掘調査遺跡一覧　発掘調査遺跡や整理作業中の遺跡の紹介
・発掘調査速報　調査期間中、遺跡ごとの調査状況を毎週更新して紹介
・イベント情報　埋蔵文化財センター考古学講座、調査説明会、各種イベント情報の提供
・センター刊行物案内　調査報告書、発掘調査説明会資料、研究紀要などの刊行物の紹介
・埋文やまがた　web 版広報誌「埋文やまがた」の紹介、およびバックナンバーの閲覧とダウンロード
・発掘調査遺跡地図　埋蔵文化財センターがこれまで発掘調査し報告書を刊行した遺跡の紹介

（３）研修等

全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業

ア　総会

期　　日　令和６年６月 13 日～ 14 日
会　　場　福島県福島市（ウエディングエルティ）
派遣職員　専務理事　菅原靖男、事務局長　高桑弘美、総務専門員　植松暁彦、主任主査　小林圭一、企画主任　須賀井新人

イ　ブロック会議

期　　日　令和６年 10 月 24 日～ 25 日
会　　場　福島県福島市（キョウワグループ・テルサホール）
派遣職員　調査研究専門員　齋藤健、主任主査　齊藤主税

ウ　研修会

期　　日　令和６年 10 月 10 日～ 11 日
会　　場　兵庫県神戸市（ホテル北野プラザ六甲荘）
派遣職員　調査研究専門員　菅原哲文

ェ　デジタル技術等活用推進委員会研修会

期　　日　令和７年２月３日
会　　場　Webex によるオンライン開催
事例報告　主任調査研究員　天本昌希

埋蔵文化財担当者専門研修への派遣

ア　自然科学分析外注課程

期　　日　令和６年９月 25 日～ 27 日
会　　場　奈良文化財研究所
派遣職員　主任調査研究員　天本昌希

職員研修

ア　ふるさと考古学講座

期　　日　　令和７年１月 24 日・２月 21 日・３月７日

会　　場　　山形県埋蔵文化財センター

内　　容　　第１回『古代出羽国府で働いていた人々と周辺遺跡』（植松暁彦）

第２回『３Ｄモデルとオルソ画像の作成』（髙桑 登）

第３回『新庄城二の丸跡の発掘成果－出土陶磁器を中心に－』（菅原哲文）

（４）情報処理

収蔵図書データベース　　新収蔵図書　1,277 冊のデータ入力実施（File Maker Pro 使用）

ISSN 1341 － 397X

年　報

令和６年度

2025 年 5 月 7 日　　発行

発　行　　公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒 999-3246
山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地
℡　023-672-5301（代）

当センターの記章としているこの図柄は、

Yamagata

Archaeology

Center

の３つの頭文字をあしらったものです。特にＹは、国宝「縄文の女神」をイメージしています。